

ふるさと講座・歴史系第 2 回目のお知らせ！ 「明治から昭和の交通の要所 奥行地区文化財を巡る」 ～史跡旧奥行臼駅通所主屋改修工事現場見学会～

奥行地区には、駅通、駅、村営軌道と町の開拓の変遷を辿ることが出来る貴重な文化遺産が、残されています。現在、国史跡旧奥行臼駅通所は、老朽化した主屋の改修工事を行い、平成 30 年度に完成を予定しています。

本講座では、文化財の見学・解説をはじめ、普段は見る事が出来ない駅通所主屋の改修工事の現場見学などを行いますので、ぜひ、ご参加下さい。

●日 時 平成 30 年 7 月 1 日（日）午前 10 時～12 時

●場 所 奥行地区文化財（集合は、奥行臼駅前）

●内 容 文化財の見学と解説

①史跡旧奥行臼駅通所（主屋改修工事現場の見学）

②町指定文化財 奥行臼駅

③町指定文化財 旧別海村村営軌道風蓮線奥行臼停留所

●講 師 別海町教育委員会生涯学習課文化財担当主査 戸田博史

●定 員 30 名

●申込み 電話・FAX・メールにて氏名・電話番号を 6 月 29 日（金）までにご連絡ください。



史跡旧奥行臼駅通所主屋



町指定文化財 奥行臼駅



町指定文化財 旧別海村村営軌道
風蓮線奥行臼停留所

ふるさと講座自然系第 1 回目を実施しました。

シギ・チドリ観察会

●日 時 平成 30 年 5 月 20 日（日）
午前 9 時 30 分～12 時 30 分

●場 所 野付半島

●講 師 別海町立中春中学校 校長 藤井 薫 氏

●参加者数 8 名



ネイチャーセンターでレクチャーの後、半島中間から先端部まで、降車しながらの観察となりました。

観察した野鳥は、下記のとおりです。天候も良く沢山の種類を観察し野付半島の野鳥の多さを実感することが出来ました。

観察した野鳥

シギ科	キョウジョシギ・トウネン・キアシシギ・ アオアシシギコアオアシシギ・アカアシシギ ハマシギ・タカブシギ・ツルシギ・オオジシギ
セイタカシギ科	セイタカシギ
サギ科	アオサギ
チドリ科	メダイチドリ・シロチドリ
カモ科	ヒドリガモ・コガモ・スズガモ・オナガガモ
タカ科	オジロワシ・トビ
ヒバリ科	ヒバリ
セキレイ科	ハクセキレイ
ツル科	タンチョウ
カラス科	ハシブトガラス・ハシボソガラス



↑トウネン ↓アオアシシギ



出前移動展

「小澤彦三が見た昭和初期のべつかい」

- 期 日 6月9日（火）～29日（日）
- 場 所 野付半島ネイチャーセンター2階

小澤彦三氏は、明治36年(1903)5月10日山梨県小澤村生まれ。昭和2-3年(1927-28)頃帯広の金物店に勤めました。その後、別海村春日に店を開き、中西別広野に移りました。若い頃からドイツ製のカメラを持ち、地域の様々な出来事を撮影していました。

昭和4年(1929)～昭和30年(1955)頃の別海・中西別・上春別地区の様子で、これまでに町史・地域史に使用されるなど別海町の開拓の歴史を語る上では欠く事の出来ない資料となっていました。



別海町郷土資料館だより No.227

発行日 平成30年6月1日

発行所 別海町郷土資料館

別海町別海宮舞町 30 番地

電話 0153-75-0802 (FAX 兼)

e-mail kyoudo@betsukai.jp

編集後記 気温も上がり、草木も青々とし屋外で活動出来る季節がやってきました。とはいえ現在は、ひたすら館内で8月下旬からの特別展の解説パネルの作成を行っています。北海道の名付け親「松浦武四郎」の関係なのですが、資料を読み込んでいくと、本当に素晴らしい記録で、ぜひ、多くの方にご覧いただきたいと思います。(K.I)